

SHARP

LED照明器具用信号制御調光器 DL-Y012R 取扱説明書

この取扱説明書はLED照明器具用信号制御調光器の取扱いについて記載しております。
よくお読みのうえ、正しくお取扱いください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付け工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付くもの
注意	誤った取扱いをしたときに、障害または家屋、家財などの損害に結び付くもの

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方はいつでも見られる場所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、また、お使いになる方が変わる場合は新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付け工事をされ不備があると、感電・火災などの原因になります。

据付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行なう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

改造・修理は絶対にしない。
改造したり修理に不備があると感電・火災などの原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の隙間や穴に金属類を差し込まない。
感電・火災などの原因になります。

本機を布や紙など燃えやすい物で覆ったり、かぶせたりして
使用しない。
火災の原因になります。

据付け工事は、この取扱説明書に従い確実に行なう。
据付け工事に不備があると、感電・火災などの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電機設備に
関する技術基準」、「内線規定」および本説明書に従い
施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電・火災などの原因に
なります。

煙が出たり、変な臭いがしたら、すぐ電源を切る。
感電・火災などの原因になります。

指定太さの電源線を指定長さに被覆を剥がし、1本ずつ
速結端子の奥まで差し込む。
差し込み不十分は接触不良により感電・火災などの原因に
なります。

本機の電源を入れたままお手入れしない。
感電の原因になります。

注意

信号線端子台に(AC100Vなど)の電源線を接続しない。
漏電・火災の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火の原因になることが
あります。

濡れた手でスイッチ、ボリュームを操作しない。
感電・故障の原因になることがあります。

配線は張力がかからないように配線工事を行う。
断線したり、発熱・火災の原因になることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
感電・火災の原因になることがあります。

乾燥不十分なクロス貼り、コンクリート面には据付けない。
絶縁不良や錆により感電・落下の原因になることがあります。

当社連続調光用LED照明器具以外は使用しない。
器具が加熱して火災の原因になることがあります。

本機の電源を入れたままランプ交換をしない。
感電などの原因になることがあります。

2 部品確認

●箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. 調光器本体……………1
2. 化粧プレート……………1
3. プレート枠……………1

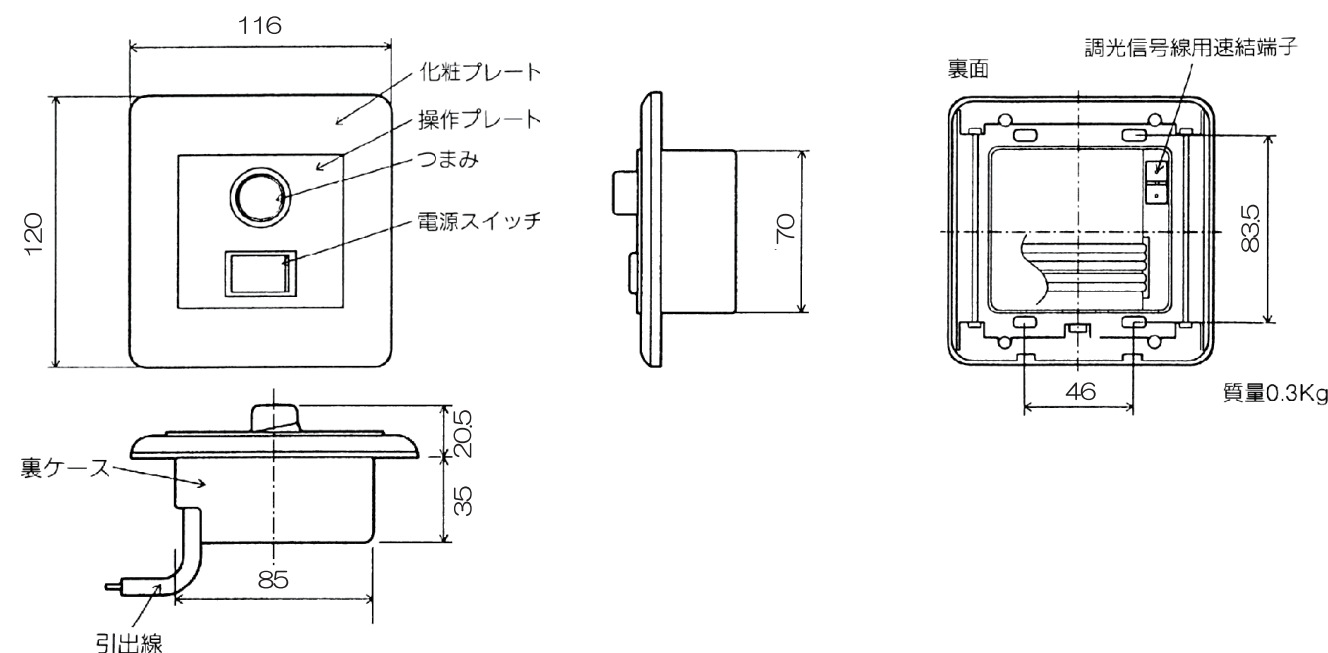
3 現地手配部品

●据付けには以下のものが必要ですので現地にて手配してください。

1. スイッチボックス 2 個用スイッチボックスカバー付き (JIS C8340)
2. 据付用ネジ 十字穴付ナベネジ M4 4本
3. 接続電線 電源線 VVF $\phi 1.6 \sim \phi 2.0 - 2C$
調光信号線 CPEV $\phi 0.9 \sim \phi 1.2 - 1P$

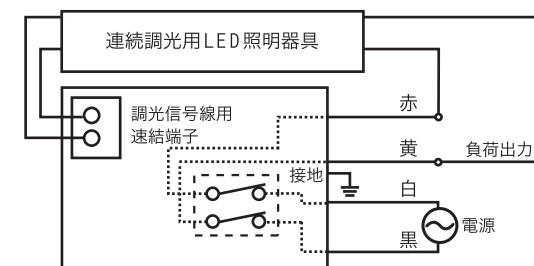
※その他の取付金具を使用する場合は別途手配ください。

4 外形図



5 結線図

(DL-Y012R 配線図 (100~254V 用))



●1ヶ所点滅 (2ヶ所点滅はできません。)

注意

本機の据付けや照明器具への配線作業は、本体の電源スイッチではなく、系統ブレーカを遮断し行ってください。
感電の原因になることがあります。

注意

電源線はむき線部分が外に出ないように確実に差し込んでください。
また差し込んだ後には線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認してください。
差し込み不十分は、むき線部分が板金と接触し、火災の原因になることがあります。

6 据付方法

1. 据付け条件

- 本機に接続できる照明器具は 15A 以内です。接続台数は下記の「6-10. 信号制御調光器への接続台数」を参照ください。
- 各接続電線は、動力線・高圧線との近接や束線を行わないでください。また接続電線と動力線・高圧線が平行するときの隔離は下記に従ってください。
 - ・600V 以下の低圧電力線は 300mm 以上
 - ・その他の高圧電力線は 600mm 以上
- 信号線の総配線長は 100m 以内で行なってください。

2. 本体ゲージに合わせて、電源線は 10mm、調光信号線は 9mm 被覆をむいてください。

3. 本体をプレート枠にはめ、壁に近づけてください。(プレート枠には表裏があります。「上」表示を本体側にしてください)

4. 電源線と引出線を圧着などの方法で確実に結線してください。

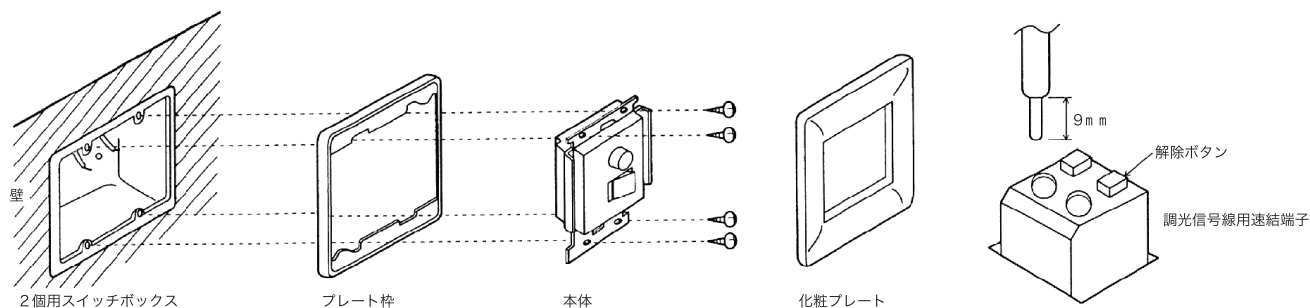
5. LED照明器具の調光信号入力端子からの調光信号線を本機の調光信号線用速結端子の電線穴に、芯線を完全に差し込んでください。(極性はありません)

6. 本機を 2 個用スイッチボックスにネジで取付けてください。

7. プレート枠に化粧プレートを取付けてください。

8. 調光信号線を外す場合は、調光信号線用速結端子の解除ボタンをドライバーなどで押しながら調光信号線を引き抜いてください。

9. 調光信号線にシールド付線 (CPEV-S) はご使用にならないでください。やむをえずご使用の場合には、シールド線は渡り配線し 1 点アースを行なってください。シールド線処理が不十分な場合はノイズによりチラツキます。



10. 信号制御調光器への接続台数

信号制御調光器 (DL-Y012R) の接続台数は、

$$\frac{12A(15A \times 0.8)}{\text{LED 電源入力電流} \times \text{LED 電源台数}} \text{ と } \frac{40 \text{ 台}}{\text{LED 電源台数}} \text{ と 灯具の取扱説明書に記載の送り台数のいずれかの最小の台数となります。}$$

7 使用方法

- DL-Y012R(両切スイッチ)は、電源スイッチを右側にたおすと照明が点灯、左側にたおすと照明が消灯になります。
- つまみを左右に回すことにより、お好みの明るさに調光することができます。
- 調光したままで、電源スイッチにより照明の点滅ができます。
- 照明を消灯する場合は、必ず電源スイッチを OFF してください。

お願い

- 外観が汚れた場合は、化学ぞうきん・シンナー・洗剤などを使用しないで、やわらかな布でふきとってください。
- 調光器をストーブ・ガスコンロ付近の高温多湿の場所では使用しないでください。
- ラジオ・ステレオなどの音響装置付近で使用した場合、雑音障害が生じることがあります。次の予防対策を行ってください。
 - ・ラジオ・ステレオなどの装置のアースを確実に行ってください。
 - ・ラジオ・ステレオなどの装置に有効なアンテナを張ってください。
 - ・本機とラジオ・ステレオなどのアース線とを、1m 以上離してください。

8 仕様

形名	DL-Y012R(両切スイッチ)
入力	AC100V~254V 50/60Hz
調光信号出力	12V PWM 信号 250mA 無極性
配線長	調光信号線 100m 以内
使用場所	屋内(ただし、水・水蒸気・直射日光の当たらないところ)
使用温度	0~35℃
使用湿度	85%以下 結露しないこと

9 点検

- 施工後、動作に異常がある場合は、次の点検をしてください。

異常内容	確認事項	対処方法
照明が点灯しない	調光器から照明器具への電源線の配線が正しく行われていますか。	電源線を結線図の通りに配線してください。
照明が調光しない (点灯状態)	調光器から照明器具への調光信号線の配線が正しく行われていますか。	調光信号線を結線図の通りに配線してください。
	調光器から照明器具への調光信号線が短絡していませんか。	調光信号線を結線図の通りに直してください。
照明がちらつく	調光器のアース処理を行なっていますか。	本体アース端子を接地してください。
	調光信号線にシールド付線 (CPEV-S) を使用していませんか。	シールド線は渡り処理し 1 点アースしてください。

保証とアフターサービス

形名	
設置完了日	年 月 日
販売店(工事店)名	

修理を依頼されるときは

1 異常が発生したときはご使用をやめて、必ずスイッチを切ってください。

2 お買い上げ販売店(工事店)に次のことをお知らせください。

- ・品名:調光器
- ・形名(上記「仕様」の形名)
- ・設置完了日
- ・故障の状況(具体的に)
- ・ご住所(近所の目印も合わせてお知らせください)
- ・お名前
- ・電話番号
- ・ご訪問希望日

保証について

- ・保証書が必要な場合は販売店(工事店)までお申し出ください。
- ・保証期間……設置完了日から1年間です。

保証の免責事項

- ・保証の免責事項につきましては、保証書またはカタログをご参照ください。

保証期間中

- ・販売店(工事店)までお申し出ください。

保証期間を過ぎているときは

- ・修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保証期間

- ・当社は調光器の補修用性能部品を製品の製造打切後、6年間保有しています。
- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

商品についてのご相談

お客様相談センター フリーダイヤル：0120-508-562
ナビダイヤル：0570-550-189
(直通番号：06-6792-1582)

受付時間(年末年始を除く)月曜日～土曜日/午前9時～午後5時

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町2番22号
電子デバイス事業本部 〒721-8522 広島県福山市大門町旭1番地